

事業名	農業関係試験研究推進事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
		実施期間	不明～	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	労働生産性				
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成				

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	県内農業の持続的な発展のための市場評価の高い長野県オリジナル品種の開発、低コスト・省力化を図るためICTや作業ロボットなどを活用したスマート農業の実現に向けた取組が必要となっている。また、減農薬など環境にやさしい農業技術、担い手不足や農家の高齢化などの生産現場の課題解決や地球温暖化対策など中長期的展望に立った技術の開発が求められている。	30年度 決算額	415,806 千円
目指す姿	○マーケットインの販売や輸出戦略に対応できるオリジナル品種や、スマート農業生産技術など、生産性・品質向上技術等の新品种・新技術が開発されている。 ○地球温暖化等の中長期的な視点に立った課題に対応した新技術の開発が進められている。 ○基礎的な研究により、今後の開発された技術が生産現場に普及し生産性向上が図られている。 成果目標:長野県農業関係試験研究推進計画の技術開発目標220技術達成(R4) (主な実施内容:試験場施設整備、素材開発研究、信州農業を革新する技術開発推進 など)	職員数	170.00 人

事業	区分(単位:千円)	29年度	30年度	令和元年度	指標及びその達成状況						
					No	成果指標	29年度	30年度			
予算額		前年度繰越	644,955			成果指標	29年度	目標値	成果	達成状況	
		当初予算	587,805	497,167	557,140	①	技術開発 達成進捗率	72.5% (H25-H29)	4% (H30-R4)	4%	達成
		補正予算	-42,710	-70,926		②	品種育成数	6品種	1品種	4品種	達成
		合計(A)	1,190,050	426,241	557,140	③	要望に基づいた 研究着手数	16課題	10課題	12課題	達成
コスト	Aの 財源	一般財源	156,841	132,058	150,536						
		県債	444,000	23,000	77,000						
		国庫支出金	402,485	45,694	68,733						
		その他	186,724	225,489	260,871						
	決算額(B)	1,121,430	415,806								
概算 人件 費	職員数(人)	170.00	170.00	170.00							
	概算人件費(C)	1,377,340	1,397,060	1,397,060							
概算事業費(B(A)+C)		2,498,770	1,812,866	1,954,200							
備考					成果指標 設定理由	「第3期県食と農業農村振興計画」に基づき策定する農業関係試験研究推進計画(H30よりH34までの5か年)で220課題で掲げる達成指標であり、技術開発の進捗率を評価できるため。					

目標に対する 成果の状況	①研究推進計画(H30～R4)までの1年目で、5年間の220目標のうち9目標を達成した(4.1%)。 ②そば、日本なし、セルリー、新たな野菜1種(ダイコン種とケール変種の属間雑種)の計4品種を育成した。 ③平成30年度に寄せられた要望事項に対し、12の研究課題を設定した。
-----------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業を どのようにし ていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	課題
	今後の方向性
	農業現場の急激な構造的変化に対応するため、農業をスマート化する技術の開発と実用化が求められている。また、多様化した消費者ニーズに対応した品種や革新的な栽培技術の開発が求められている。
	長野県農業関係試験研究推進計画に沿って事業を実施し、「日本をリードする研究力を活かした信州農業を革新する新品种・新技術の開発」及び「生産現場の課題を解決するための技術開発」を柱に据え、研究を推進する。

3 事業を構成する細事業の内容

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
1		運営費	試験場の運営、施設管理を行った。	170.00	112,103		178,447
2		農業関係試験場整備事業費	農業関係試験場の施設及び設備の更新・導入により、技術開発の効率的・積極的な推進を図った。	兼務	10,724		11,038
3		研究推進費	試験研究の効率的な運営を行い、知的財産の管理や積極的な活用を促した。	兼務	12,096	224,925	9,408
4		素材開発費	農業生産現場のニーズに応えるため、基礎となる「研究シーズ」を創出し、応用技術につながる基礎知見の集積を図った。	兼務	108,605		109,964
5		県単プロジェクト研究費	生産現場の緊急要望へ対応するため、各部門から選出したチームにより短期間(3～5年)で集中的な技術開発を行った。	兼務	34,378	34,378	36,860
6		高度化等研究開発費	農水省の競争的資金等を活用し、主要農作物が直面する重要課題に対し国研や大学などとの協力研究により技術開発を行った。	兼務	162,038	117,465	154,729
7		新資材試験等協力研究費	国や民間企業、団体等からの委託された研究を活用し、長野県農業の発展に貢献する技術開発を推進した。	兼務	57,223	39,038	56,694
合計				170.00	497,167	415,806	557,140

事業改善シート附表

当初要求
 当初予算案
 補正予算案
 点検

事業番号	事業名	農業関係試験研究推進事業				部局	農政部	課・室	農業技術課		
09 03 06											
細事業No	細事業名	項目	実施方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施状況	30年度				
							29年度 当初(千円)	29年度 要求(千円)	30年度 当初(千円)	30年度 補正(千円)	30年度 決算(千円)
1	運営費	試験場の運営・施設管理	直接	試験場の運営、施設管理を行う	農業関係試験場5場の施設の運営、管理を行った。		200,648	114,043	112,103	-8,168	224,925
2	農業関係試験場整備事業費	農業関係試験場の施設及び設備の更新	直接	農業関係試験場の施設及び設備の更新・導入により、技術開発の効率的・積極的な推進を図る。	気象観測装置や紫外可視分光光度計など、農業関係試験場の施設及び設備の更新・導入を行い、技術開発の効率化を図った。		10,724	15,724	10,724		
3	研究推進費	試験研究の効率的な運営と知的財産管理	直接	試験研究の効率的な運営を行い、知的財産の管理や積極的な活用を促す。	試験研究の効率的な運営を行った。知的財産の管理を行い、積極的な活用を促し、新たにそばや日本なしなど、計4品種を育成した。		6,871	12,443	12,096		
4	素材開発費	農業生産現場のニーズに応えるための基礎知見の集積	直接	農業生産現場のニーズに応えるため、基礎となる「研究シーズ」を創出し、応用技術につながる基礎知見の集積を図る。	新品種の育成や新技術の開発をめざした27課題を実施し、応用技術の開発につながる基礎的知見の集積を行った。		108,112	108,605	108,605		
5	県単プロジェクト研究費	生産現場の緊急要望へ対応するための短期間（3～5年）で集中的な技術開発	直接	生産現場の緊急要望へ対応するため、各部門から選出したチームにより短期間（3～5年）で集中的な技術開発を図る。	温暖化への影響評価及び対策技術の開発など、各部門から選出したチームによる集中的な技術開発研究を16課題実施した。		50,457	49,326	34,378	34,378	
6	高度化等研究開発費	農水省の競争的資金等を活用した国研や大学などの協力研究による技術開発	直接	農水省の競争的資金等を活用し、主要農作物が直面する重要課題に対し国研や大学などの協力研究により技術開発を図る。	水田畦畔除草管理機やレタス収穫機の開発など、国研や大学、民間企業との協力研究により、54課題を実施した。		153,340	153,548	162,038	-44,573	117,465
7	新資材試験等協力研究費	国や民間企業、団体等からの委託された研究を活用した技術開発	直接	国や民間企業、団体等からの委託された研究を活用し、長野県農業の発展に貢献する技術開発を推進する。	新品種の現地適応性や新資材の評価など、国や民間企業、団体等からの委託研究を11課題実施し、長野県農業の発展に貢献する技術開発を推進した。		57,653	57,223	57,223	-18,185	39,038
合 計							587,805	510,912	497,167	-70,926	415,806